

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 11号)

2021年 1月20日発行
 兵庫のみ研究所

前回 (1/13) 調査と同種の珪藻がこの海域全般に確認されますが、全体的な発生量は減少傾向にあります。今回調査は下げ潮時ということもあり、窒素は陸水等の影響が見られた地先の地点と明石海峡部周辺を除き、海域全体的に 1 $\mu\text{g-at/L}$ 以下の値でした。

(水温) 漁場内平均9.0℃。平年比0.6℃、昨年比3.1℃ともに低い。(塩分) 平均31.72psu。前回 (31.88) より0.16psu 低い。
 (栄養塩、珪藻) 前回調査と同種の珪藻が、別府～魚住の地先周辺を中心に依然として多く確認された。高砂漁場、東播漁場沖筋・東部域においては珪藻全体の発生量は減少傾向にある。一方、ユーカンピアの群体が全域で散見されつつあり、この海域西部では海水1mlあたり50～80細胞と徐々に増加の兆しが見られる。明石海峡部周辺海域の窒素は3 $\mu\text{g-at/L}$ 台で前回調査並みの値であったが、潮時が下げ潮であり林崎新漁場中央以西 (水温が低い海水) の窒素はかなり低い状況であった。気象情報では今週末の金～日曜日にかけて降雨の予報となっており、まとまった降雨による漁場への栄養塩供給が望まれます。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	9.6	9.0	9.6	12.1
窒素	1.8	1.1	3.4	4.4
リン	0.42	0.27	0.42	0.56

(1/13) (1/23)

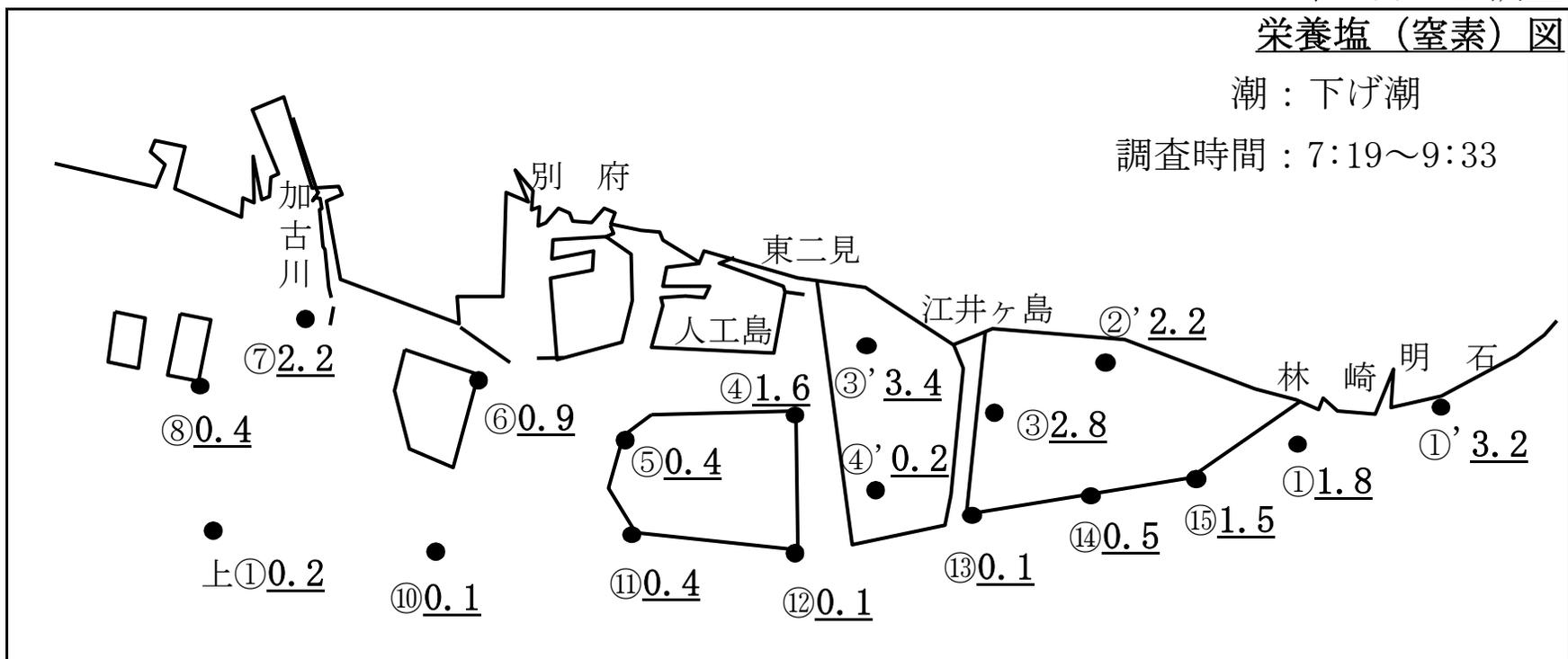
西播地先					
伊保地	水温	8.8℃	伊保沖	水温	8.8℃
	窒素	0.2		窒素	0.2
	リン	0.28		リン	0.30
白浜地	水温	8.9℃	白浜沖	水温	9.0℃
	窒素	0.1		窒素	0.2
	リン	0.31		リン	0.32

2021年 1月20日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮：下げ潮

調査時間：7:19～9:33



水温図

